

<対策のポイント>

被災産地の復興・創生のため、状況変化等に起因して新たに現場が直面している課題を対象に先端技術の現場への実装に向けた現地実証を行うとともに、被災地に設置した社会実装拠点を核として組織的な技術導入を行うことにより、実用化された技術体系の迅速かつ広範な社会実装を図ります。

<政策目標>

先端技術を用いた被災地の農林水産業の復興・創生

<事業の内容>

1. 現地実証の実施

- 福島県をはじめとして、被災地域内に設けた「農業分野」、「水産業分野」の現地実証地区において、**新たな状況変化に起因する技術的課題を解決するための先端技術の現地実証**を実施します。

2. 研究成果の社会実装促進

- 実用化された技術体系の速やかな社会実装を図るため、被災地域内に設けた「農業分野」、「水産業分野」の**社会実装拠点を核として、情報発信、技術研修、現場指導等**を行います。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

- **被災地の状況変化等に起因して、現場が直面している課題を設定**

<新たな技術的課題の事例>

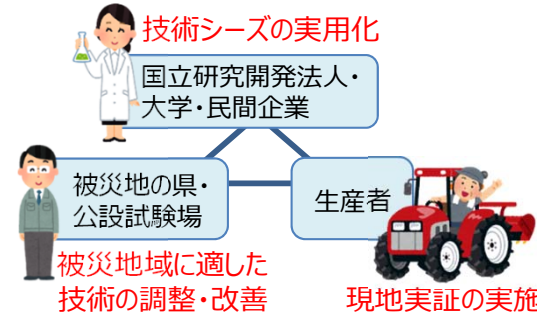


除染後の農地において、堆肥及び緑肥作物を利用した地力回復技術等の確立



市場動向に合わせ、休漁で上向いた漁業資源を最適に活用するためのICT漁獲技術の確立

- **連携体制を構築し、現場で真に使える技術体系を開発**



- **実証研究により技術体系が確立**

<これまでの実証成果の事例>

- 水耕栽培によるトルコギキョウの年間3作の周年生産技術を確立
- 商品価値の高い未産卵一粒牡蠣（あまころ牡蠣）の養殖技術を確立



各県に拠点を配置し、組織的な技術指導を実施

- ① 情報発信、現場指導の実施
- ② 実証圏における技術研修等の実施



先端技術を用いた被災地の農林水産業の復興・創生を実現！